

格安SIMキャンペーンおすすめランキング 選定・評価基準について

対象記事：格安SIMキャンペーン徹底まとめ【2026年7月最新】
スマホ乗り換え(MNP) & 新規契約など目的別に比較紹介

サイト名	モンスターメディア
対象ランキング	乗り換え(MNP) TOP10 / 新規契約 TOP5 / 端末購入 TOP5
基準制定・調査時期	2026年7月
評価方式	5項目を各5点満点で採点し、単純平均で総合評価を算出

本基準は、広告上の「最大還元額」だけで順位を決めず、実際に受け取れる金額、条件の達成しやすさ、受取漏れのリスク、特典の実用性、契約後の回線価値までを同じ尺度で比較するために定めています。

適用する3つのランキング

区分	ランキング名
乗り換え(MNP)	格安SIMの乗り換え(MNP)キャンペーンおすすめ比較ランキングTOP10
新規契約	格安SIMの新規契約で使えるキャンペーンおすすめ比較ランキングTOP5
端末購入	格安SIMの端末購入が安くなるおすすめキャンペーン比較ランキングTOP5

1. ランキング対象サービス・キャンペーンの選定基準

記事内で比較する格安SIM・キャンペーンは、次の共通条件を満たすものを対象とします。各ランキングでは、さらに契約区分ごとの条件を満たすキャンペーンだけを採点します。

選定条件	確認内容
国内で申込可能	日本国内の個人利用者が、公式サイトまたは正規の申込窓口から契約できること。
条件が公開されている	特典額、対象者、申込期限、開通期限、付与時期、併用可否などを公式情報で確認できること。
調査時点で申込可能	終了済み・受付停止中の特典を除き、調査時点で利用できること。終了日未定の特典も対象とする。
実質負担を比較できる	特典だけでなく、必須オプション、指定プラン、事務手数料、端末残債などの追加負担を確認できること。
回線として継続利用できる	料金、データ容量、通信品質、通話、サポート等を含め、契約後の利用価値を評価できること。

契約区分ごとの追加条件

区分	対象に含める条件	対象外として扱う例
乗り換え(MNP)	他社から電話番号を引き継ぐMNPで適用される特典	同一ブランド内のプラン変更のみ / 新規番号限定特典
新規契約	新しい電話番号の発行でも適用される特典	MNP限定の還元額を新規契約の評価に流用すること
端末購入	回線契約と同時に端末を購入・利用することで適用される値引きや購入プログラム	在庫がなく申込不能な機種 / 条件を確認できない参考価格

2. 共通評価項目と採点方針（各5点満点）

3つのランキングは、以下の5項目を共通して採点します。端末購入ランキングでは「特典の実用性」の中で、直接値引き、端末の所有権、返却義務、残債・故障時負担を重点的に確認します。

評価項目	主な評価ポイント	重要度
還元・割引の大きさ	必須費用を差し引いた実質的な節約額。ポイント、直接値引き、月額割引、初期費用免除などを合算。	共通
適用条件のゆるさ	有料オプション、高額プラン、指定機種、対象外回線、利用期限などの制約が少ないか。	共通
手続き・受取の簡単さ	自動適用か、エントリーや申請が必要か、付与までの期間、メール・コード確認など受取漏れのリスク。	共通
特典の実用性・リスク	ポイントの利用先・有効期限、請求充当の可否。端末購入は返却義務、残債、故障時負担、所有価値も確認。	共通
SIM・料金プランのコスパ	月額料金、データ容量、通信の安定性、通話、初期・解約費用、サポートを総合評価。	共通

総合評価の算出式

$$(\quad + \quad + \quad + \quad + \quad) \div 5 = \text{総合評価 (5点満点)}$$

各項目は1.0～5.0点の範囲で0.1点刻みで採点し、総合評価は小数第3位を四捨五入して小数第2位まで表示します。順位は総合評価の高い順とします。

3. 各評価項目の採点基準

次の基準を目安に採点します。中間的な条件は、基準点の間を0.1点刻みで調整します。最大額だけではなく、実際の適用可能性と受取確実性を反映します。

還元・割引の大きさ

点数帯	評価基準
4.5～5.0	必須費用控除後の節約効果が非常に大きい。目安として2万円以上、または端末価格を大幅に直接値引きできる。
3.5～4.4	節約効果が大きい。目安として1万円以上2万円未満、または複数月の料金負担を明確に軽減できる。
2.5～3.4	標準的な特典。目安として5,000円以上1万円未満、または限定的な月額割引がある。
1.5～2.4	節約効果が小さい。目安として5,000円未満、または必要費用を考慮すると実質メリットが限定的。
1.0～1.4	実質的な値引きがほぼない、または必須費用が特典額を上回る可能性が高い。

実質節約額 = ポイント・現金・直接値引き・月額割引・初期費用免除 - 必須オプション料金・指定プランによる追加負担・不可避の手数料。端末返却プログラムは「返却した場合の支払免除額」と「返却条件・残債リスク」を分けて評価します。

適用条件のゆるさ

点数帯	評価基準
4.5～5.0	通常の申込・開通だけで適用しやすく、有料オプションや高額プランの指定がない。対象外条件も少ない。
3.5～4.4	専用ページ、エントリー、簡単な通話・利用など軽い条件が1～2個あるが、追加負担は小さい。
2.5～3.4	指定プラン、オプション、利用期限、対象機種など複数条件がある。一般利用者でも達成可能。
1.5～2.4	高額プランや有料オプション、厳しい期限、対象者の強い限定など、達成負担が大きい。
1.0～1.4	条件が複雑・不明確で、多くの利用者が適用対象外となる可能性が高い。

手続き・受取の簡単さ

点数帯	評価基準
4.5～5.0	申込時に自動値引き・自動適用され、事後申請が不要。受取漏れの可能性が極めて低い。
3.5～4.4	事前エントリーやログインなど簡単な操作のみ。付与時期・手順が明確で管理しやすい。
2.5～3.4	複数の利用条件や数カ月後の確認が必要だが、案内に従えば受け取れる。
1.5～2.4	長期間待った後にメール・コード・口座登録等が必要で、期限切れや見落としのリスクが高い。
1.0～1.4	申請経路や時期が分かりにくく、受取の不確実性が高い。

特典の実用性・リスク

点数帯	MNP・新規契約での判断	端末購入での判断
4.5～5.0	現金、請求額の直接値引き、広く利用できるポイントで、有効期限や用途制限が小さい。	端末価格の直接値引き。一括購入でき、返却義務・残債リスクがないか極めて小さい。
3.5～4.4	日常利用しやすいポイント・電子マネー。期限や分割付与があるが使い切りやすい。	大幅割引または明確な返却プログラム。返却条件・故障負担が理解しやすい。
2.5～3.4	利用先や期限が限定されるが、料金充当や一般的な決済に使える。	返却義務や残債があるものの、総負担額と条件が明確。端末の選択肢は標準的。
1.5～2.4	用途が限定的、期限が短い、分割付与が長いなど、使い切るための管理が必要。	返却・故障・早期解約時の負担が大きい。割引対象機種や在庫が限定的。
1.0～1.4	利用方法が難しい、失効しやすい、実質価値が低い。	広告上の実質額と実際の所有コストの差が大きく、残債・返却リスクが高い。

SIM・料金プランのコストパフォーマンス

点数帯	評価基準
4.5～5.0	月額料金、データ容量、通信品質、通話・サポートのバランスが非常に良く、特典終了後も継続価値が高い。
3.5～4.4	価格または通信品質に明確な強みがあり、一般的な利用で高い満足度が見込める。
2.5～3.4	標準的な料金・品質。利用時間帯や容量、割引条件などに一定の注意点がある。
1.5～2.4	料金・容量・通信品質のいずれかに大きな弱点があり、利用者を選ぶ。
1.0～1.4	特典終了後の維持費や回線価値が低く、長期利用では不利になりやすい。

4. 3つのランキングへの適用方法

ランキング	還元・割引の算定	特に重視する確認事項
乗り換え (MNP)	MNPで実際に受け取れる還元、月額割引、初期費用免除を合算し、必須費用を控除。	転出元による対象外、エントリー期限、開通期限、分割付与、同系列からの乗り換え可否。
新規契約	新しい電話番号の契約で受け取れる特典だけを算定。MNP限定額は含めない。	新規契約の還元額、2回線目・再契約の可否、通話・利用条件、開通後の維持費。
端末購入	直接値引き、ポイント、分割支払免除額を算定し、必須契約費・返却時負担・残債リスクを別途反映。	一括価格か実質価格か、返却義務、利用期間、故障・未返却時負担、対象機種・在庫、所有権。

同点・僅差の場合の順位決定

優先順位	比較項目	理由
1	還元・割引の大きさ	読者の実質負担軽減に最も直接的に影響するため。
2	適用条件のゆるさ	最大額より、一般利用者が実際に条件を満たせることを優先するため。
3	手続き・受取の簡単さ	申請忘れや期限切れによる受取漏れを防ぐため。
4	特典の実用性・リスク	付与後の使いやすさ、端末の返却・残債リスクを反映するため。
5	SIM・料金プランのコスパ	特典終了後も無理なく継続利用できるサービスを優先するため。

5. 調査・採点・更新の手順

手順	実施内容
1. 情報収集	各社公式サイト、キャンペーン規約、料金ページ、重要事項、端末販売ページから最新条件を確認。
2. 条件の正規化	「最大」表示と一般的な適用額を分け、必須費用・指定条件・付与時期を同じ形式に整理。
3. 実質価値の算定	ポイント、直接値引き、月額割引、初期費用免除から追加負担を差し引き、比較可能な価値に換算。
4. 5項目の採点	本書の採点基準に沿って各項目を1.0～5.0点で評価し、根拠を記録。
5. 総合評価の算出	5項目の単純平均を小数第2位まで算出し、同点時は定めた優先順位で判定。
6. 掲載前確認	金額、対象者、期限、付与方法、端末条件、記事内の表・本文との整合性を再確認。
7. 更新	キャンペーン終了、特典額・料金・条件の変更、対象機種的大幅な入替時に再評価。

6. 調査概要

調査項目	内容
調査対象	記事内で比較する国内主要格安SIM10社および、MNP・新規契約・端末購入で利用可能なキャンペーン
参照データ	各事業者の公式サイト、キャンペーン規約、料金・オプションページ、重要事項説明、端末販売・購入プログラムページ
評価単位	サービス名だけでなく、契約区分ごとに実際に選択すべきキャンペーン窓口・特典を評価
調査時期	2026年7月
更新方針	主要特典・料金・適用条件・端末販売条件に変更が確認された場合、随時見直し
広告との関係	広告掲載や成果報酬の有無は採点項目に含めず、上記5項目に基づいて順位を決定

7. 免責事項

本ランキングは、モンスターメディアが定めた共通基準に基づき、調査時点の情報を相対比較したものです。すべての利用者にとって同一のキャンペーンが最適であることを保証するものではありません。

キャンペーンの特典額、対象条件、申込期限、付与時期、料金、端末価格、在庫は変更される場合があります。申込前に各事業者の公式サイトおよびキャンペーン規約で最新情報を確認してください。

端末購入プログラムでは、返却期限、端末状態、故障・破損、未返却、早期解約等により追加負担が発生する場合があります。「一括価格」と「返却を前提とした実質負担額」は区別して確認してください。

ポイント等の金額換算は、原則として1ポイント＝1円相当として利用できる場合を基準とします。用途・期間が限定される特典は、利用制限と失効リスクを採点に反映します。